

東レアローズ(株)とスポーツ振興で パートナーシップ協定



6月14日、スポーツを通じた地域活性化を目的として、東レアローズ(株)と市によるパートナーシップ協定締結式が行われました。今後同社と市は、子ども向けバレーボール教室の開催や市内外の交流促進などについて連携していきます。

部活動地域移行を考える シンポジウム開催



6月14日、山東学びあいステーションで、部活動の地域移行について考えるシンポジウムが開催されました。この日は約60人が参加し、講演会のほか、市内小学生の保護者らがパネルディスカッションを行い、部活動における現状の課題や今後の可能性などを話し合いました。



市政言

東京2025デフリンピック開催

2025年11月15日から26日までの12日間、東京でデフリンピックが開催されます。1924年にフランスで第1回大会が開かれてから100年という節目の年に日本で初めて開催されます。聴覚に障がいのある選手たちが世界中から集い、国や文化を越えて交流し、誰もが個性を活かし、力を発揮できる総合スポーツ大会です。

本市では、「手と手をつなぐ米原市手話言語条例」を制定し、手話を一つの言語として認め、誰もがつながるまちづくりを進めてきました。6月18日には「手話に関する施策の推進に関する法律」が成立し、手話が言語として尊重される社会づくりが全国的に進んでいます。

引き続き、すべての人が安心して心豊かに暮らすことができる共生社会の実現を目指してまいります。

※「deaf(デフ)」とは、英語で「聞こえない」という意味で、耳が聞こえない人のスポーツをデフスポーツ、その競技者をデファスリートと言います。

米原市長 角田航也



市制20周年特別企画

マイバラメモリアルニュース Vol.3

～米原市が誕生した20年前のあの頃を振り返る～

◆菜の花で“うみのこ”を動かそう! 小学校で菜種の刈り取り作業◆

広報まいばら2005年(平成17年)8月号掲載

滋賀県内では、環境に優しい生活への意欲を育むため、小学校で菜の花を栽培し、その菜種油をうみのこの燃料として利用しようという取り組みが行われていました。

市内の小学校でも、初夏にかけて校内で育てた菜種の刈り取りが行われたようで、子どもたちは思った以上に硬い茎に苦労しながらも、先生たちに手伝ってもらいながら収穫作業を行いました。



菜種油は、うみのこの燃料としてだけでなく、学校給食にも使用されたよ!

